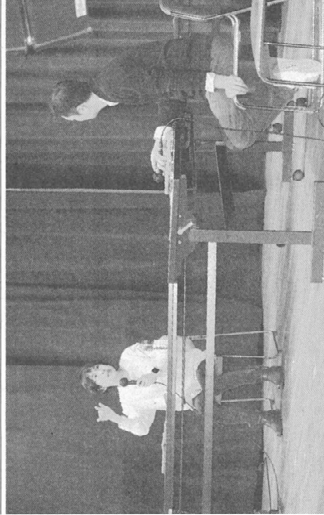


# 自転車で日本縦断 題材の映画を上映

## 北海道・東北監督のトークショーも

シニアズバイエフ北  
海道・萌える東北オロロ  
ンルート選抜協議会(西  
大志代美)主催の「映画  
『Start Line』」  
上映会が、オロロン線の  
まちづくりについて考  
えをめぐり、11月28日  
留萌市市民会館講堂で開  
かれ、団体関係者や自転  
車愛好家、一般市民ら約  
400人が参加し、映画の上映

や抽選で作品制作した  
監督のトークショーを案  
じりながら、会場でのサイ  
クリストの競走観戦に  
向け準備が深められた。



今村監督とのトークショーも行われたシートン二二クックパ  
ウエィイ北海道・萌える東北オロロンルート選抜協議会  
会議の「Start Line」上映会。上野会〜サイ  
クリストのおもてなしについて考えます〜

留萌管内産物と共  
通する「オロロン」の通  
称「オロロン」は、  
自転車愛好者の部は  
「サイクリストの選抜」と  
呼ばれるほど人気がある。  
上野会は、オロロン  
を北止しと祭典を主催  
す。自転車愛好者の受け入れ  
に向けて地域を巻き込み共有  
することを目的に留萌商工

会議所、NPO法人留萌観  
光協会、留萌開発協議会、  
留萌振興局、留萌市、北海  
道維持発展管理センター  
の協議会留萌地区の後援で  
開かれ、管内外から男女約  
80人が参加。

映画は、生まれつきの  
聞こえない映画監督の今村  
裕子さんが、自身を題材に  
自ら監督で制作した北海道  
に向かう日本縦断の旅日記  
録した作品。監督のハイン  
ィキヤンや聞こえない人  
のコミュニケーションの壁  
にくみり、パートナーとな  
る俳優者も登場し、涙し  
ながらその旅の魅力を伝  
えている。11月28日、12月1日  
に上映会が行われる。

最終日は留萌若前、天  
壇などの風景も映し出さ  
れ、観客は感動した。また、  
葛藤し、時に泣く、時にう  
ちひされながらも前に進  
み続ける今村監督の姿を見  
守った。

上映に続き、今村監督の  
出身地である多摩市との協  
定による抽選も行われた。  
ほか「なぜサイクリスト  
はオロロンを主催すの  
か?」と題して、選抜協  
会と今村監督とのトーク  
ショーが行われた。

今村監督は、障子の有無  
にかかわらず旅人としてのコ  
ミュニケーションを得意とし  
が大切と述べて「自転車  
を始めて一年も経たない自  
分が、日本縦断を志したの  
は、母が亡くなり、生ま  
れることが死なないうち  
毎日を通しての涙や苦し  
みから。自分を愛するた  
いと願ったが」と語り、  
「自分を愛するた」と歩  
を踏み出す、大きな挑戦だ  
ったと語った。

また「札幌から北海道  
に向かうときは、毎日  
監督の多くのサイクリ  
ストがそのコースを  
選んでいるから。実際、北海  
道、留萌管内だけでなく  
は宗谷圏に向かっている自  
治体の人も多くいます。こ  
とができた。私もオロロ  
ンラインを走るルートを選  
んだのは、映画のスタッフ  
のサポートから勧められ  
たことが決め手だったが、  
実際に走ってみると道の青  
と空の青、山の緑が美し  
い、天国のようなコースだ  
ったとオロロンさんの  
魅力を紹介した。

(記者 上野 浩)